



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第104号(2012年9月28日)



【イランの再生エネルギーへの取り組み】

イランの核開発問題に関連して核、原油、天然ガス関係の業界については欧米から厳しい制裁措置を受けていますが、同国は、より自由な再生エネルギーの分野についても注力しています。実はイランは既に中東では最大規模の再生エネルギーのキャパシティーを保有しており、Energiciというグリーン・エネルギー関連のデータベースによれば9,385MWのキャパシティーを持つようです。また、最近テヘランで開催された展示会では欧州の企業と取引をしている同国の企業が独自に作った国内製のソーラー・パネルや風力タービンを展示しました。

欧米からの制裁措置では同国の原油関係の企業も厳しく制約を課せられていますが、再生エネルギーについては話が異なります。現状では欧州の制裁では再生エネルギーは対象に含まれていません。一方で原則的には、イラン企業は米国企業向けにはビジネスはできません。

イランでの再生エネルギービジネスの可能性は欧州のエネルギー関係企業も注目しています。

一方で現状の制裁措置は再生エネルギーの分野でも重しになっています。送金の問題の他、イランで製造できない部品、素材についても入手が難しいケースがあります。たとえば、タービンの刃に不可欠な素材が、ヘリコプターにも転用可能ということで入手が難しいとされています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アラブ通貨基金がモロッコに資金援助】

アラブ通貨基金はモロッコ向けに1億2,700万ドルの資金援助を計画していることを発表しました。食料価格の上昇を通じて政治的な不安が生じることを抑えるのが目的です。

モロッコでは昨年以來、貧困、汚職、政府の対処への不満などが要因となって抗議活動が盛んになっています。そんな中で、財政問題に対応するため、6月にモロッコ政府は燃料価格の引き上げなども発表しています。

モロッコは欧州の経済的な問題からの影響を強く受けており、既にIMFから予防的なローンの供与も受けています。

【ドバイがワニの公園を計画中】

ドバイの当局は、フランス、チュニジア、ベルギーの類似の公園を研究して独自にワニの公園を作ることを計画していると発表しました。

当局の話では、この公園は単にアミューズメント・パークという位置づけではなく、同時に教育にも役立つような施設にしたいとのことでした。

また、既存の老朽化した動物園のかわりとしてサファリパークのような施設を作ることも既に決まっています。こちらはサファリパークのほか、蝶の公園、ゴルフコース、娯楽、休養施設も含まれるようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【中東でフェイスブックの代替プラットフォームを開発】

中東各国の電話通信企業が共同で、フェイスブックの代替になるような汎アラブ向けのプラットフォームの開発を検討しています。技術的、財政的な問題から同プロジェクトが実際に大規模に立ち上がるのかどうかはまだ不透明ですが、各国の電話通信企業はこのプロジェクトにより新たな収入源を得ることを狙っています。

背景としては、個別に設備投資に資金を投じて、データのトラフィックから電気通信企業は限られた収入しか得られず、実際にはフェイスブック、グーグル、アップルなどが大きな収入を得ていることについての不満があります。

現状の案では、いわゆるソーシャルメディア、オンラインショッピング、音楽、ビデオ、アプリケーションの配信などが狙上にあがっているようです。

一方で、実際にフェイスブックやアップルのような巨人と競合することの難しさ、あるいは個々の電話通信企業が実際に協調していけるのかどうかについて疑問の声もあがっています。電話通信企業の最大手の一つのボーダーフォンも、ボーダーフォン360と呼ばれるサービスを立ち上げたものの、やはりうまく行かず、昨年には同サービスから撤退すると決めています。

また、中東でも一部のゲーム開発、スマートフォン向けアプリ開発の会社が勃興していますが、まだ欧米の企業に立ち向かえるほどの企業は出てきていません。

一方で世界中のウェブサイトのうちアラビア語のものは僅か1%という調査結果もあり、欧州、北米、アジアと比べると、アラビア語がネイティブの人々の間ではまだインターネットの浸透も遅れているとされています。そのため、まだ西欧の企業が独占的にまで食い込んではおらず、アラビア語を母国語とする人々の世界では今後新しい勢力が生まれてくるのかもしれない。

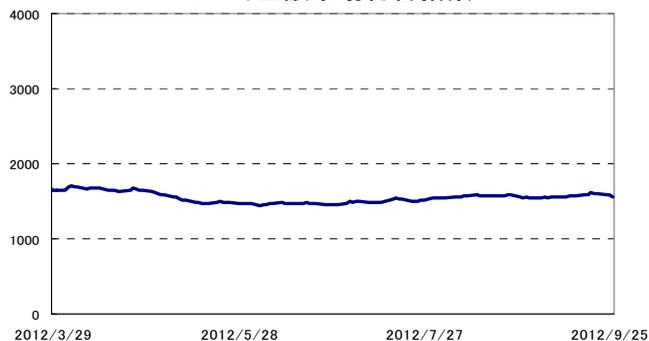


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

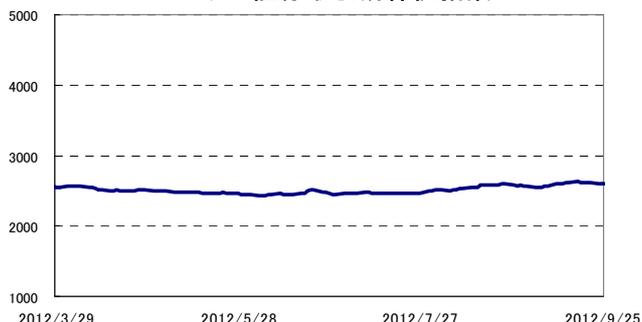


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

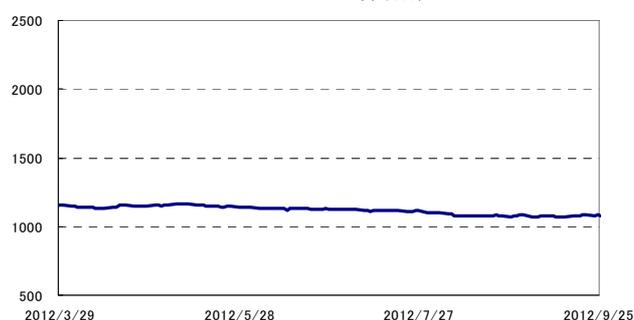
ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



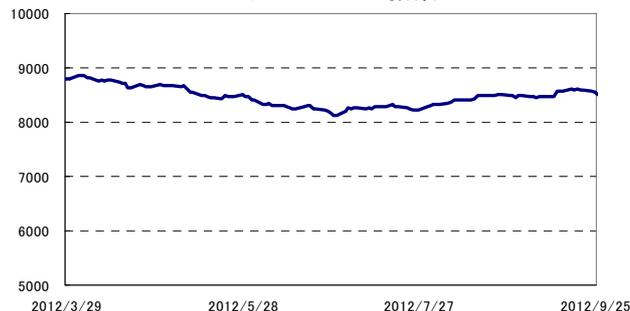
バーレーン全株指数



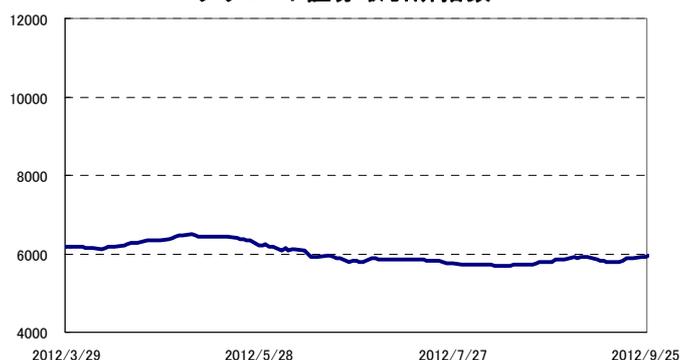
サウジアラビア タダウル全株指数



カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。